



はくび通信

第 204622 号



初代尾張藩主 徳川義直公正室 春姫様

春姫様

2018年の名古屋城本丸御殿復元完成に伴い、惜しまれつつもその役目を終えた「春姫道中」が、2022年3月に「春姫まつり」と名称を変えて開催されることとなりました。当寺は春姫様の菩提寺ということで、歴代「春姫」が訪れ、認証書の授与式と位牌への報告が行われてきました。昨年11月には「尾張徳川春姫まつりヒロイン三役認定書授与式」として、第25代「春姫」が参拝に訪れました。

◆幸運の女神 春姫様

「春姫道中」は、1615年（元和元年）初代尾張藩主徳川義直公の正室として迎えられた春姫様のお興入れの行列を再現したものです。当時の文献から推察しても、それはそれは豪華なもので、今日の名古屋の豪華な結婚式のルーツとなったとも言われています。*

ある年、名古屋城へ立ち寄った家康公が「春姫との結婚により増えた化粧代（経費）はどれくらいか」と家臣に尋ね、家臣が「一日に黄金一枚になります」と答えると、家康公は「木曾の運上（いわゆる税金）が一日黄金一枚程度だろう」と言い、木曾一帯の三万石余りを尾張藩に増徴（領地を与えること）しました。

これにより尾張藩は、藩の財政が潤い、徳川御三家筆頭の地位が固まったといわれています。

◆春姫様×万松寺

春姫様は、幼いころから書や歌への造詣が深く、筆を嗜まれるなどの才媛だといわれています。また、仏教への信仰が厚く、当寺8世明谷文察大和尚と書簡を通じて学んでいたと伝えられています。

春姫様は、自分が亡くなったときには、実家浅野家の本寺にあたる雲興寺への埋葬を望んでいました。しかし、遺骸が雲興寺の末寺である当寺へ送られることや明谷文察大和尚との縁から、当寺で葬儀・埋葬されました。春姫様の戒名は、高原院大岳宗椿大禅尼。これは嫡子である二代尾張藩主光友公が、春姫様が生前に受けたものを使用したいと申し出て、それに当寺が院号を付けたとされています。

春姫様の守護仏とされる御深井の里の観音様は、春姫様が亡くなった後に菩提寺である当寺へ遷されることとなりました。

当寺では「春姫忌」として、毎年4月23日に命日供養を営んでおります。

※諸説あります。





セレモニーホール
きちょう

きちょうホールに絆画が常設展示されています。

葬儀、法要等で使用の際はご来場をお断りする場合がございます。

絆画作家 大村 順
故人と遺族の今を描く



絆画
KIZUNAE

入場無料 10:00 - 18:00
最終入場17:30

きちょうホール 0120-157-942
〒460-0011
名古屋市中区大須3-30-40 万松寺ビル本館8階

住職の



小噺



先人の智慧に心をゆだねる
（木炭のチカラ）

皆さんは「癒し」のひとつときをお持ちですか？何かと我慢を強いられるコロナ禍の今「癒し」のひとつときを持つことは、身心ともに健康であるために、とても大切なことだと思います。

家族やペットとの団欒、読書、ドライブ、スポーツなど、人それぞれ「癒し」の形はいろいろあることでしょう。

ちなみに私の「癒し」のひとつときは、炭を火鉢で焚き、鉄瓶で湯を沸かし、お茶をいただくことです。湯が沸くまでの間、ぱちりとはじける炭の音や穏やかに灯る火相を眺めていると、心のささくれが落ち、穏やかになるように感じます。

■日本が誇る木炭の文化

日本の木炭は、約30万年前の石器時代のものが最古とされるほど深い歴史があります。弘法大師が仏教の布教とともに全国に広めたとされる備長炭に代表される白炭技術や、茶道で用いられる茶の湯炭に代表される黒炭技術は、世界でも類を見ないほど技術力が高いとされています。

日本での木炭の用途は、燃料としてだけでなく、殺菌、消臭、

除湿、浄化、魔除けなど様々です。

また、技術の発展により芸術にまで高められた木炭は、インテリアとしても脚光を浴びるようになりました。なかでも切り口がまん丸で菊の花のような「菊炭」は人気があります。



■木炭の癒し

自然界に存在する火や波、風などの揺らぎは、生体リズムと共鳴する「1/fゆらぎ」といって、聴くと脳波からα波が発生します。α波は別名「幸福の脳波」「坐禅型脳波」といわれており、心身ともに安静に向かうときに現れる脳波で、免疫力や集中力も高めます。また炭には、遠赤外線効果があり身体を温めてくれます。

炭を火鉢で焚くと癒されるのも納得がいけますね。

万松寺では毎月28日に護摩焚きを行っております。護摩壇の火と炭の癒しは、身心の浄化に繋がると思います。お時間ございましたら足をお運びください。

合掌

万松寺住職

大藤 元裕

これからの行事

3/3 (木) 信秀忌

万松寺を建立した織田信秀公（織田信長公の父）の命日供養を営みます。



3/6 (日) 災害物故者追悼法要

震災などの災害で亡くなった世界中の方を悼み、復興・再生への祈りを込めて、追悼法要を営みます。

3/6 (日) 初午会

稲荷の日である旧暦初午の日に、白雪稲荷のご真前にて、五穀豊穰・商売繁盛の祈禱を行います。



3/21 (月祝) 22 (火) 春彼岸合同法要

彼岸（浄土）と此岸（現世）が近くなることされる彼岸の時期に、追善供養を営みます。

4/3 (日) 花まつり

降誕会を祝し、花御堂（はなみどう）の誕生仏に甘茶を灌ぐ花まつりを行います。



4/8 (金) 降誕会

お釈迦様が花園でお生まれになった日に、誕生を祝し報恩感謝の法要を営みます。

4/22 (金) 開山忌

万松寺初代住職大雲永瑞大和尚の命日供養を営みます。

4/23 (土) 春姫忌

初代尾張藩主義直公正室春姫様の命日供養を営みます。



行事・祈禱・供養のお問合せ・お申込みは
祈禱受処 または
0521-26210735

にて承ります。
（年中無休）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、行事・イベントは変更となる場合があります。
詳しくはホームページをご確認いただくか電話でお問い合わせください。

仏教の豆知識



【和顔愛語】

皆さんは「和顔愛語（わげんあいご）」という禅語をご存知ですか？有名な禅語なので、ご存じの方もいらっしゃるかと思えます。

この禅語は「大無量寿経」という経典に出てくる言葉で、やわらかい微笑み（和顔）で、真心からのやさしい言葉（愛語）を使い、相手に対して深い思いやりの心を持って人と接することの大切さを説いています。

「和顔愛語」の精神は、縁を結んだ人に対する行動指針になるとして、これを理念として掲げている会社も多いようです。しかし、この言葉の意味を理解するのは簡単ですが、常に実践するとなると意外に難しいものです。

もう一つ仏教では有名な言葉として、心の三毒と言われる「貪瞋痴（とんじんち）」という言葉があります。

これは、むさぼること（貪）、いかること（瞋）、迷い惑って道理のわからないこと（痴）の三つの煩惱を一字ずつ表したもので、私たちを悩ませる根本的な煩惱とされています。

す。物があふれ、忙しない現代社会を生きるなかでは「貪瞋痴」を抑えるのが難しいものです。

人には煩惱があり、その時の気分や感情に左右され、ついつい顔の相が崩れ、言葉も乱れてしまいがちになることがあります。そんな時は気持ちを落ち着かせ、心が安らぐことが大切です。

今回は、心を安らげて落ち着かせるための方法をひとつお話しします。

■心の中の仏さま

「仏さまに手を合わせる」というと、多くの方がお寺や仏壇、お墓、お葬式など特定の場所や状況を思い浮かべるかと思えます。しかし本当は、私たち一人ひとりの心の中にも仏さまはいらっしゃるといふことにお気づきですか？



信仰する仏様、ご先祖様、ご縁がある大切な人など、人それぞれ違います。あなたがとって一番身近な仏さまというのは、あなた自身の心の中にいらっしゃるのです。

ですから、嬉しいことがあった時、悲しいことがあった時、迷い惑った時には、自分の心の中の仏さまに、心の中で手を合わせ、語りかけてみてください。嬉しい時には心が温かくなり、悲しいことや迷い惑った時は心が洗われて、だんだんと安らいでいくでしょう。

人というのは不思議なもので、心が安らいでいると、過剰な煩惱に惑わされることが少なくなります。そうすると、自然に顔相はやわらかく、言葉もやさしくなります。また、自分以外の人に対しても、思いやりの心を持つ余裕ができるようになります。つまり、心の安らぎは「貪瞋痴」を抑え「和顔愛語」へとつながっていくのです。

心の中の仏さまに手を合わせ、語りかけることは、忙しない現代社会において、ふとした時にできることです。ぜひ実践してみてください。

もちろん、お寺で仏様のご真前で参拝したり、お墓などでご先祖様にお参りしたりするということは、仏さまとの距離をぐっ！と縮めることができ、心の安らぎも増し、厚いご加護を受けられます。何か大切な報告がある時、お正

月、お盆、お彼岸などの節目には、ぜひ足を運んでいただき、仏さまに手を合わせてください。

当寺では、祈祷や供養、行事、仏教講座などを通して、皆さんと「和顔愛語」の輪を拡げてまいります。お時間がございましたら、足をお運びください。



大人の寺子屋

〜万松寺住職との気楽なお茶会〜

開催日 3月6日(日)

時間 10時半〜12時 (受付 10時)

参加費 300円 (お抹茶・お菓子付き)



万松寺の仏教講座

坐禅会

毎週日曜日 9時〜10時

写経会

毎月第1土曜日 16時〜17時半

写仏会

毎月第2・4土曜日 16時〜17時半

仏教勉強会

毎月第3土曜日 16時〜17時半

参加費 500円

万松寺の永代供養納骨堂

お墓・供養のあらゆるお悩みにお応えします



0120-157-942
または万松寺総合受処まで

3 駅から徒歩3分
天候に左右されない
屋内施設

2 納骨後も安心な
負担の少ない
法要費用

1 由緒ある
寺院による
安心の永代供養

万松寺納骨堂が
選ばれ続ける
3つの理由

万松寺日記

■年未年始の法要・祈祷

万松寺の行事の中でも、特に年未年始は多くの行事があり、多くの方で賑わいます。本年は少しずつですが、賑やかな大須の街が戻りつつありました。引き続き感染対策を行い、皆様の暖かい日常が少しずつ戻る事を祈念申し上げます。

除夜法会

令和3年12月31日(金)



正月合同法要

令和4年1月2日(日)
1月3日(月)



初詣大般若会

令和4年1月1日(土祝)
1月2日(日)



初稲荷大祭

令和4年1月4日(火)



昇龍焚き上げ 凶返し吉祥護摩

令和4年1月8日(土)

正月飾り、古い御守・御札などを、読経と浄火により供養し、無病息災・家内安全などを祈祷する「昇龍焚き上げ」と凶みくじの凶を天に返し吉運を呼び込む「凶返し吉祥護摩」を行いました。ご参拝の皆様には、焼き芋をお振舞させていただきました。



初不動護摩大祭

令和4年1月28日(金)

身代不動明王のご真前にて、不動明王の初縁日に今年一年の諸願成就を祈念し、護摩焚きを行いました。



節分

海苔 金型祈祷

令和4年1月20日(木)

イオンリテール東海カンパニーが販売する「イオンの恵方巻」の焼きのりと「厄除け饅頭」「厄除けどら焼き」の焼き印金型に護摩祈祷を行いました。当日は、倉庫や店舗の方にもオンラインで参加いただきました。

星分会 星祭

令和4年2月3日(木)

節分会を行いました。本堂で、七難即滅・七福即生の祈祷を行いました。あわせて不動堂で、星祭として、本命星と当年星がより吉勢となるように、除災招福の祈祷を行いました。



参加費無料！万松寺で体操教室を体験しよう！！ TAM 体操クラブ 無料体操教室開催！！

日程 2月21日(月) 28日(月) 場所 万松寺 白龍ホール

おとなの部

1部 シニア軽運動レッスン(60歳以上向け) 13時~13時50分

2部 ストレッチレッスン(20~60歳向け) 14時10分~15時

こどもの部 後援:名古屋市教育委員会

1部 体操(年長~小2) 16時~16時50分

2部 体操(小3~小6) 17時10分~18時

3部 アクrobat 18時10分~19時

※どちらかの日程で参加可能です ※予約制※人数制限あり



元日本代表がレッスンします!!

コーチ紹介

名前: 鵜飼 真弘(うかいまさひろ)

資格: 教員免許1種(保健体育)

実績: 全日本選手権 種目別 床3位
2016年度 U21 日本代表

お問い合わせ・参加予約はホームページから「TAM運動スクール」or「TAM体操クラブ」で検索! またはQRコードから

